

令和4年度革新的技術・ビジネスモデル推進プロジェクト

分別収集したプラスチック資源の
機械選別・リサイクルに関する実証検討
報告書

令和5年3月

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

令和4年度活動報告：オンラインシンポジウムの開催

革新的技術・ビジネス推進プロジェクト<調査・分析事業>の2年目である令和4年度は、国内外の様々な高度マテリアル&ケミカルリサイクル技術を紹介し、近未来のカーボンニュートラルなプラスチック資源循環の姿を展望するため、東京都と連携して、以下のとおり、オンラインシンポジウムを開催した。

【オンラインシンポジウムの内容】

- 1 タイトル
プラスチック資源循環の近未来～ソーティングセンターを核とした水平リサイクルの可能性
- 2 日時
令和5年3月27日（月曜日）
午後4時00分から午後6時15分まで（日本時間）
- 3 場所
オンライン開催（Zoom ウェビナー）
- 4 内容

内容	登壇者（敬称略）
開会あいさつ	岡野知道 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会会長
ソーティング技術： 欧州の現状と日本のギャップ	河口昌伸 トムラソーティング株式会社 代表取締役 喜田知克
ソーティング技術について	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 廃棄物ソリューション事業本部 副本部長
材料リサイクルの最新動向について	磯野正幸 いその株式会社 代表取締役社長 岩田貴陽
溶媒を利用した PP の高度マテリアルリサイクル	三井物産株式会社 パフォーマンスマテリアルズ本部 機能材料事業部 ポリオレフィン事業室長 Dustin Olson

PS モノマー還元について	Chief Executive Officer, PureCycle Technologies Inc. 若澤真基雄 ピュアサイクル アジア代表 小林昌史 P S ジャパン株式会社 常務取締役 製造技術部長 馬渡謙一郎
循環型ケミカルリサイクルについて	三菱ケミカル株式会社 グリーントランスフォーメーション推進本部長 穴田武秀
電子透かし技術を使った選別技術の実証 HolyGrail 2.0 について	Alliance To End Plastic Waste (AEPW) 日本・韓国統括 古澤康夫
閉会にあたって	東京都環境局資源循環推進部 専門課長

※日英同時通訳付き

5 参加者数

約 450 名

6 アーカイブ動画の公開

オンラインシンポジウムの模様は、東京都ホームページにおいて公開している。

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/online.html>

以上